

第38期



国際物流管理士資格認定講座

International Logistics Master Course

受講者同士の交流や
情報交換を通して、
ヒューマンネットワークを
構築できます。

グループ討議・
ケーススタディを通じて
実践力を習得します。

講義や演習だけではなく、
実際に港湾施設や
空港施設を見学します。

国際物流に関連する
専門知識やマネジメント
技術を体系的かつ
総合的に学ぶ講座です。

本講座を修了し、
所定の試験に合格した方
には、「国際物流管理士」
の資格が授与されます。

第38期 国際物流管理士資格認定講座 開催日程

第1单元	9月 6日(火) ~ 9月 7日(水)	第6单元	11月16日(水) ~ 11月18日(金)
第2单元	9月27日(火) ~ 9月28日(水)	第7单元	12月 7日(水) ~ 12月 8日(木)
第3单元	10月12日(水) ~ 10月13日(木)	第8单元	1月18日(水) ~ 1月19日(木)
第4单元	10月20日(木) ~ 10月21日(金)	第9单元	2月 1日(水) ~ 2月 2日(木)
第5单元	10月21日(金) ~ 11月10日(木)	認定証授与式	3月 9日(木)
現地見学	11月11日(金)		

第38期『国際物流管理士資格認定講座』開催にあたって

新興国における経済が高成長を続け、世界規模での最適地調達、最適地生産など企業活動のグローバル化が進展し、企業経営においては、国際競争を勝ち抜くためのグローバルロジスティクスの重要度が高まっております。

製造業においては、グローバルな視点に立った生産拠点、物流拠点の配置による、消費地へのシームレスな物流構築のため、国際物流のシステム革新やローコストオペレーションの推進が不可欠であると認識されています。

また、物流企業においては、国際物流の効率化を支援するためのシステム提案型のサービス提供が不可欠となり、顧客である荷主のグローバルロジスティクス構築のために果たす役割が大きくなっております。

このような状況のもと、産業界では国際競争力強化のため、国際物流の専門知識と管理技術を習得したスペシャリストが求められております。

「国際物流管理士資格認定講座」は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として1979年の開講以降、1,483名の「国際物流管理士」を輩出し、産業界より非常に高い評価をいただいております。

第38期を迎える本講座は、広範に渡る国際物流について、概論から応用までわかりやすく解説するとともに、企業事例や物流施設見学、グループ討議やケーススタディなどを取り入れた、実務に直結するカリキュラム構成としております。

国際物流のスペシャリストの育成に、ぜひ本講座を積極的にご利用くださいますようお願い申し上げます。



能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会
委員長 石原 伸志
(東海大学 海洋学部 特任教授)

国際物流管理士資格認定講座とは

国際物流に関連する専門知識やマネジメント技術を体系的かつ総合的に学ぶ

- 国際物流の第一線で活躍されている実務家やコンサルタント、学識経験者を講師に迎え、国際物流のスペシャリストにとって必要な専門知識やマネジメント技術を、体系的かつ総合的に学ぶことができます。
- カリキュラムは、9つの単元により構成され、受講日数は延べ19日間となります。

「国際物流管理士」の資格取得

- 講座を修了し、所定の試験に合格した方には、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会より「国際物流管理士(英文名称:International Logistics Master)」の資格が授与されます。これまでに1,483名の「国際物流管理士」が誕生し、各分野で活躍しています。
- 「国際物流管理士」の資格は、出席日数、筆記試験(5回のレポート試験と1回の客観試験)等の結果を考慮し、資格認定規程に沿って認定いたします。

ヒューマンネットワークの構築

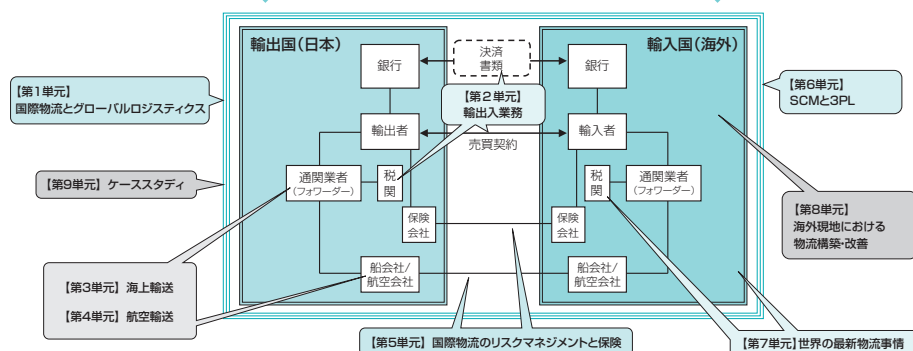
- グループ討議や懇親会において、受講者同士の交流を深め、ヒューマンネットワークの構築を促進します。
- 様々な業種・役職の方々と交流を通じて、業務を行う上でのヒントや幅広い視野を得ることができます。

実践力習得のためのグループ討議・ケーススタディ

- 講座受講中、計3回行われるグループ討議・ケーススタディでは、実践的な課題に対して、さまざまな業種や立場で構成されるグループのメンバーとの討議を通じて実践力の習得を目指します。

「国際物流の領域」と各単元の位置づけ

(日本からの輸出の例)



国際物流管理士に期待される到達レベル

- ① 国際物流やグローバルロジスティクスに関する専門知識を有し、実務で活かすことができる。
- ② 自社の物流の現状を把握し、問題発見や解決すべき課題を設定することができる。
- ③ 課題解決策を立案し、国内外問わず、社内外の関係者の理解と協力を得ながら実行することができ、さらにその効果を評価することができる。
- ④ グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画・提案することができる。
- ⑤ 海外赴任先において、異なった価値観や習慣を持つ現地スタッフに対して、指導や権限委譲を行いながら、チームとしてまとめ、実務を遂行することができる。



国際物流関連施設の見学

大井埠頭や羽田空港等、国際物流関連施設を実際に見学し、施設管理者からの説明や質疑応答を通じて、講義で学んだことをより深く理解することができます。



受講対象・受講要件

受講対象

国際物流のスペシャリストを志向する方、国際物流に携わる中堅管理者・担当者

受講要件

国際物流関連業務に従事し2年程度の経験を有する方

資格認定について

◆ 修了基準

- i) 14日以上出席すること。
- ii) 単元欠席(ひとつの単元の講義を全日欠席すること)がないこと。
- iii) 該当する単元で出題されるレポート試験を全て受験していること。
- iv) 客観試験を受験していること。
- v) 第9単元「ケーススタディ」に2日間出席すること。

◆ 合格基準

	①レポート試験(5回)					②客観試験	③欠席減点	④総合平均点 {(①+②)÷6}×③
	第2単元	第3単元	第4単元	第5単元	第6単元			
配点	100点	100点	100点	100点	100点	100点	1日欠席:1点減点	100点
合格基準	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	半日欠席:0.5点減点	70点以上
提出日/実施日	10月14日	10月27日	11月14日	12月9日	12月16日	2月1日		

※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。

単元聴講制度

- 本講座には、特定の単元のみご受講いただくことができる「単元聴講制度」がございます(ただし第9単元を除く)。
- 単元聴講をされた方が資格認定を希望し、本講座を受講される場合は、既に聴講された単元を有効単元といたします。ただし、最初に単元聴講をされた年度より2年以内に本講座を修了することが条件となります。
- 詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

有資格者優待

- 当協会が認定する「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」の資格を持つ方は、優待料金にて本講座をご受講いただくことができます(受講申込規程をご参照ください)。
- 「国際物流管理士」の資格を取得された方は、当協会が主催する「ロジスティクス経営士」「物流技術管理士」資格認定講座を優待料金にてご受講いただけます。優待料金の詳細は、各講座のパンフレットをご参照ください。

国際物流管理士専門委員会 委員名簿

本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線でご活躍されている学識経験者や実務家で構成された能力開発委員会 国際物流管理士専門委員会によって企画・運営されています。

(敬称略・順不同)

委員長	石原 伸志	東海大学 海洋学部 特任教授
副委員長	小林二三夫	横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長
委員	荻原 克郎	井本商運株式会社 東京営業所 専任部長
〃	土川 孝	株式会社ANA総合研究所 大学連携グループ 主席研究員
〃	山縣 敏憲	港湾職業能力開発短期大学校 横浜校 非常勤講師
〃	鈴木 伸彦	株式会社ジュリアンウッドベル 代表取締役
〃	高山 洋	住商グローバル・ロジスティクス株式会社 国際事業本部 副本部長 兼 物流企画営業部長
〃	橋本 浩介	東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 部長(貨物業務グループリーダー兼務)
〃	久保田圭二	日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ グループ長
〃	笛田 和広	日立建機ロジテック株式会社 業務部 副部長
〃	中丸 睦美	三菱電機(中国) 有限公司 上海分公司 生産技術室 副室長

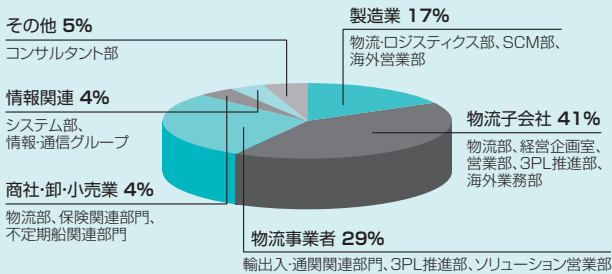
(参考) 過去5年間の資格取得者所属企業一覧

秋田海陸運送(株)	ココヨサプライロジスティクス(株)	南海プライウッド(株)	(株)富士エコー
旭化成ケミカルズ(株)	コニカミノルタ物流(株)	西鉄物流(株)	(株)富士通アドバンストエンジニアリング
東海運(株)	独立行政法人 雇用・能力開発機構	西日本鉄道(株)	(株)富士通九州システムズ
いすゞ自動車(株)	佐川急便(株)	(株)ニチレイフーズ	(株)富士テクノトランス
いすゞライネックス(株)	山九(株)	ニッコー・ロジスティクス(株)	富士フィルムロジスティックス(株)
井上運送(株)	サントリービジネスエキスパート(株)	日通NECロジスティクス(株)	(株)ブラウド
伊予商運(株)	JSR(株)	日東ロジコム(株)	ブラザーロジテック(株)
インターナショナル・カーゴ・サービス(株)	ジェイティ物流(株)	一般社団法人日本海事検定協会	ホンダロジコム(株)
インテル(株)	(株)新開トランスポートシステムズ	日本コカ・コーラ(株)	丸全昭和運輸(株)
(株)インフォセンス	スタンレー電気(株)	日本電気(株)	(株)丸和運輸機関
(株)ANA Cargo	住化ロジスティクス(株)	日本フレートライナー(株)	三井化学(株)
SEIロジネット(株)	センコー(株)	日本郵便(株)	三井倉庫(株)
ST物流サービス(株)	全日本空輸(株)	日本ロジテム(株)	三菱商事(株)
SBフレームワークス(株)	全農物流(株)	博多港運(株)	三菱商事ロジスティクス(株)
オリンパス(株)	(株)大善	パラマウントベッド(株)	三菱電機(株)
カゴメ物流サービス(株)	田中貴金属ビジネスサービス(株)	(株)PAL	ムンディアファーマ(株)
(株)カネカ	中越通運(株)	(株)バンダイロジバル	(株)ヤクルト本社
上伊那貨物自動車(株)	中外製薬(株)	日立建機ロジテック(株)	(株)安川ロジステック
カリソー(株)	ドイグロジャパン(株)	(株)日立物流	ラインケミージャパン(株)
岐阜プラスチック工業(株)	(株)トクヤマロジスティクス	日立物流ソフトウェア(株)	(株)LIXIL
キムラユニティー(株)	トライネット・ロジスティクス(株)	ファイザー(株)	リコーロジスティクス(株)
クレハ運輸(株)	ナイキジャングループ(合)	(株)フクミ	

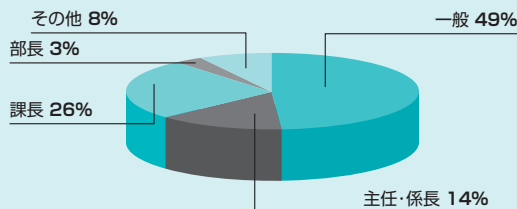
*社名50音順。原則として、資格取得時の社名で掲載

過去5年間の国際物流管理士資格認定講座 受講者属性

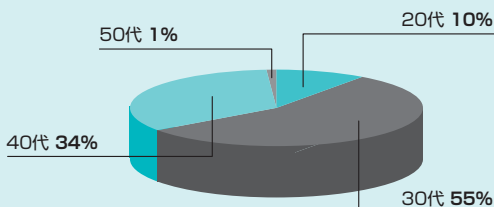
業種別割合と主な所属部門



役職別割合



年齢別割合



第37期国際物流管理士 資格取得者の声

長友 和也 氏 (全農物流株式会社 営業開発部 営業開発課)

今日の企業活動におけるサプライチェーンは大きくグローバル化し、非常に複雑化しています。このような経営環境にあって、ロジスティクス戦略は企業の成長に欠かせない武器として、その役割は非常に重要なものになっています。ロジスティクスの領域が大きくなるにつれ求められる知識は非常に広範化し、また、急激な為替の変動やTPPに代表される自由貿易協定など事業環境の変化も急速です。そのため、個人単位で国際物流を学ぼうとしても正しい情報を取捨選択することはとても困難です。

この「国際物流管理士資格認定講座」は多様な分野の専門家が各講義を担当し、国際物流に関する様々なテーマについて、基礎理論から実務への応用までの広範な内容が体系的に学習できます。講師の方々は皆第一線で活躍されており、最新の国際物流情勢を交えながらの講義は非常にハイレベルで、実務経験が十分な受講者の方にも新しい知見が得られることは請け合いです。講義の中にはディスカッションなどのグループワークも含まれており、業界の垣根を超え他の受講者と意見や知識を交流した時間はとても良い刺激を与えてくれました。この培った人脈こそが本講座を通じて得た一番の財産であると思っています。また、講義は座学のみならず、国際物流関連施設の現地見学があり、学んだ知識を体験できる貴重な機会も設けられています。

私には講義内容のレベルが高く本業をこなしながら受講することは大変でしたが、乗り越えることで大きな自信を得ることができました。今後は、本講義で得た知見をさらに研鑽し、自社内で国際物流の旗振り役として存在感を発揮していきたいと思っています。

第38期 国際物流管理士資格認定講座 カリキュラム

*講師の都合等によりスケジュールに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

(敬称略)

第1単元 国際物流とグローバルロジスティクス

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

石原 伸志 (東海大学 海洋学部 特任教授)

山縣 敏憲 (港湾職業能力開発短期大学校 横浜校 非常勤講師)

国際物流からロジスティクス、サプライチェーンへの展開等を学び、次単元以降の講義を理解するための基盤作りを行う。また、グループ討議を通じて、課題解決への実践的な考え方を学ぶとともに、異業種メンバーによる交流とヒューマンネットワークの形成を図る。

日程	時間	講義テーマ	講師
9月6日(火)	9:30~10:45	開講式 記念講演「国際物流マンの役割と使命」	山縣 敏憲 港湾職業能力開発短期大学校 横浜校 非常勤講師
	10:50~11:30	講座オリエンテーション	事務局
	12:30~14:00	国際物流とロジスティクス	石原 伸志 東海大学 海洋学部 特任教授
	14:10~17:10	グローバル調達ネットワークとロジスティクスの理論	橋本 雅隆 明治大学 専門職大学院 グローバルビジネス研究科 教授
	17:30~19:00	キックオフミーティング(交流会)	
9月7日(水)	9:30~17:30	グループ討議 国際物流の現状・自社の課題認識と解決の考え方 <small>※グループに1台パソコンをご準備いただきます。</small>	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー

第2単元 輸出入業務

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

小林 二三夫 (横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長)

笛田 和広 (日立建機ロジテック株式会社 業務部 副部長)

国際物流に携わる上で、通関、インコタームズ、決済、外国為替、国際ファイナンス等、輸出入に関わる事項の習得は不可欠である。本単元では、ウイーン売買条約等の最新情報を盛り込みながら、輸出入業務について、基礎から分かり易く解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
9月27日(火)	9:30~13:00	輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム	宮崎 千秋 公益財団法人日本関税協会 調査・研究担当部長
	14:00~17:30	輸出入とインコタームズ、ウイーン売買条約	小林 二三夫 横浜商科大学 商学部 教授 地域産業研究所 所長
9月28日(水)	9:30~16:30	貿易売買契約と各種決済方法、 外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス	井上 泰伸 日本貿易学会
レポート提出日		2016年10月14日(金) 13:00まで	

第3単元 海上輸送

会場

フォーラム8

単元コーディネーター

久保田 圭二 (日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ グループ長)

荻原 克郎 (井本商運株式会社 東京営業所 専任部長)

海上貨物輸送は全世界における貿易の約9割で用いられており、国際物流を進める上で不可欠となっている。本単元では、海上貨物輸送の概論からフォワーダー、荷主企業の取り組みまで解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
10月12日(水)	9:30~12:30	NVOCCと国際複合輸送	桜井 正応 株式会社日新 国際営業第一部 部長
	12:30~12:50	第6単元グループ討議 事前準備レポート出題	事務局
	13:50~15:40	海上輸送における特殊貨物(危険物)概論	飛延 孝男 一般社団法人日本海事検定協会 安全技術サービスセンター 上席危険物検査員
	15:50~17:20	国際物流におけるコスト削減に向けた取り組み ～海上輸送を中心として～	荻原 克郎 井本商運株式会社 東京営業所 専任部長
10月13日(木)	9:30~12:30	海上貨物輸送概論	合田 浩之 日本郵船株式会社 渉外グループ 調査役
	13:30~16:30	海上個品運送契約/船荷証券/Sea Waybill/複合運送証券	伊地知 憲輔 日本郵船株式会社 法務・フェアトレード推進グループ 調査役
レポート提出日		2016年10月27日(木) 13:00まで	

第4単元

航空輸送

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

土川 孝 (株式会社ANA総合研究所 大学連携グループ 主席研究員)
鈴木 伸彦 (株式会社ジュリアンウッドベル 代表取締役)

商品ライフサイクルの短縮化やグローバルにおける在庫の最小化への対応を進める上で、航空貨物輸送の果たすべき役割は大きい。本単元では、航空貨物輸送の概論からインテグレーターやフォワーダーの取り組みまで、分かりやすく解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
10月20日(木)	9:30~17:00	航空産業概論 航空貨物輸送概論 航空協定、航空運送約款と航空運送状 航空貨物運賃	土川 孝 株式会社ANA総合研究所 大学連携グループ 主席研究員 古家 光博 株式会社ANA Cargo 総務企画部 教育訓練課 マネジャ
10月21日(金)	9:30~11:30	フォワーダーのグローバルロジスティクス展開	鈴木 伸彦 株式会社ジュリアンウッドベル 代表取締役
	12:30~14:00	インテグレーターの輸送サービスの実際	山口 邦男 フェデラル エクスプレス フェデックス サプライチェーン 専任本部長
レポート提出日		2016年11月14日(月) 13:00まで	

第5単元

国際物流のリスクマネジメントと保険

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

橋本 浩介
(東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 部長(貨物業務グループリーダー兼務))

企業活動におけるリスクマネジメントの重要性はますます高まっている。本単元では、国際物流におけるリスクの概要と、特に重要となる貨物事故防止対策、並びに貿易貨物保険とクレーム手続のポイントについて解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
10月21日(金)	14:10~16:40	リスクマネジメント概論	田代 邦幸 株式会社インテグレーション 事業リスクマネジメント部 事業継続マネジメントグループ マネジャー 上席コンサルタント
11月10日(木)	9:30~12:30	国際物流におけるリスクマネジメントとロスプリベンション	能勢 正貴 一般社団法人日本海事検定協会 検査第一サービスセンター 技術管理部門 部長 貨物損害チーム チームリーダー
	13:30~17:00	貿易貨物保険とクレームの実務	橋本 浩介 東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部 部長(貨物業務グループリーダー兼務)
レポート提出日		2016年12月9日(金) 13:00まで	

現地見学

物流施設見学

11月11日(金)	10:30~12:00	大井埠頭 コンテナターミナル	日本郵船株式会社
	14:00~15:30	羽田空港 貨物ハンドリング施設	株式会社ANA Cargo

第6単元

SCMと3PL

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

中谷 祐治
(ロジソリューション株式会社 取締役 メーカー第2コンサル部 部長)

物流・ロジスティクスの高度化、効率化を考える上で在庫管理やSCM、3PLは重要なテーマである。本単元では、それらの理論とともに実例を交えて解説する。また、これまでの単元で習得した事項を踏まえたグループ討議にも取り組む。

日程	時間	講義テーマ	講師
11月16日(水)	9:30~12:00	在庫管理の実務	芝田 稔子 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント
	13:00~15:00	SCMの実務	平山 基 株式会社シーモット 代表取締役
	15:10~17:10	トヨタのグローバルロジスティクス	吉本 真人 トヨタ自動車株式会社 物流管理部 主査 担当部長
11月17日(木)	9:30~12:30	3PL概論	中谷 祐治 ロジソリューション株式会社 取締役 メーカー第2コンサル部 部長
	13:30~15:00	国際物流における3PL導入事例	田中 秀憲 日本ビューレットパックード株式会社 管理統括 国際物流部長 AEO総括管理部門(兼ベトナムカスタムズ担当)
	15:10~16:40	国際物流における3PLの実践事例	石原健二郎 三井倉庫インターナショナルジャパン株式会社 3PL事業部 オペレーション第1課長
11月18日(金)	9:30~17:30	グループ討議 ※グループに1台パソコンをご準備いただきます。	中谷 祐治 ロジソリューション株式会社 取締役 メーカー第2コンサル部 部長
レポート提出日		2016年12月16日(金) 13:00まで	

第7単元

世界の最新物流事情

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

石原 伸志 (東海大学 海洋学部 特任教授)

高山 洋 (住商グローバルロジスティクス株式会社 国際事業本部 副本部長 兼 物流企画営業部長)

物流コストを削減しつつ、高品質な国際物流を構築するためには、海外の物流状況を把握することが不可欠である。本単元では、各地域における物流インフラ、通関等の物流事情について、最新事情を盛り込みながら解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
12月7日(水)	10:30~12:30	インドの最新物流事情	大森 幹雄 日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
	13:30~16:30	中国の最新物流事情	株式会社アルプス物流
12月8日(木)	9:30~12:30	東南アジアの最新物流事情	石原 伸志 東海大学 海洋学部 特任教授
	13:30~15:30	欧州の最新物流事情	講師調整中
	15:40~17:40	米国の最新物流事情	芦田 誠 拓殖大学 理事 副学長

第8単元

海外現地における物流構築・改善

会場

JILS研修室

単元コーディネーター

中丸 睦美 (三菱電機株式会社 三菱電機(中国) 有限公司 上海分公司 生産技術室 副室長)

高山 洋 (住商グローバルロジスティクス株式会社 国際事業本部 副本部長 兼 物流企画営業部長)

経済成長が著しい中国や東南アジア等の新興国では、現地における物流構築・改善の重要性がますます高まっている。本単元では、海外現地においてこれらの取り組みを進める上でのポイントについて解説する。

日程	時間	講義テーマ	講師
1月18日(水)	9:30~12:30	海外現地における人材マネジメント方策	町田 秀樹 株式会社アスピレックス 代表取締役社長
	13:30~15:00	海外現地における品質向上に向けた取り組み	講師調整中
	15:10~16:40	国際物流戦略における釜山港の利用	渡辺 景吾 セイノーロジックス株式会社 取締役社長
1月19日(木)	9:30~12:00	ITによる国際物流の見える化	寺田 猛史 鴻池運輸株式会社 経営改革本部 部長
	13:00~15:00	海外現地における物流構築・改善の実際①	中丸 睦美 三菱電機(中国) 有限公司 上海分公司 生産技術室 副室長
	15:10~17:10	海外現地における物流構築・改善の実際②	高山 洋 住商グローバルロジスティクス株式会社 国際事業本部 副本部長 兼 物流企画営業部長

第9単元

ケーススタディ

会場

フォーラム8

グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに据えたケーススタディにグループで取り組む。サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法を学ぶ。

日程	時間	講義テーマ	講師
2月1日(水)	9:30~10:30	客観試験	事務局
	11:00~18:00	ケーススタディ「グローバルロジスティクス改革」 <small>※グループに1台パソコンをご準備いただきます。</small>	池田 篤彦 株式会社日本能率協会コンサルティング ロジスティクス革新センター テクニカルアドバイザー シニア・コンサルタント
2月2日(木)	9:30~17:00	//	

認定証授与式

3月9日(木)	15:00~17:30	認定証授与式／懇親会	
---------	-------------	------------	--

第38期国際物流管理士資格認定講座				開催期間：2016年9月～2017年3月				BA1612	
(フリガナ) 会社・事業所名				<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 会員外		支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いいたします)			
						月		日 支払予定	
(フリガナ) 派遣責任者				所属・役職名					
勤務先住所 〒 -				TEL: - -		FAX: - -		E-mail: -	
(フリガナ) 受講者1			生年月日 (西暦) 年 月 日		所属・役職名				受付 NO
勤務先住所 〒 -					TEL: - -		FAX: - -		
有資格: <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士									
単元聴講		1	2	3	4	5	6	7	8
(フリガナ) 受講者2			生年月日 (西暦) 年 月 日		所属・役職名				受付 NO
勤務先住所 〒 -					TEL: - -		FAX: - -		
有資格: <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士									
単元聴講		1	2	3	4	5	6	7	8
名 (請求書は原則として、合計金額を派遣責任者の方にお送りいたします。その他、請求先のご希望は「協会への連絡事項」へご記入ください。)									

協会への連絡事項			受付日			請求日			請求番号		

受講申込規程

- ◆ **受講料**
 - ◆ 当協会会員 総額432,000円/1名 (受講料400,000円+消費税32,000円)
 - ◆ 会 員 外 総額540,000円/1名 (受講料500,000円+消費税40,000円)
- ◆ **有資格者優待**

当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にてご受講いただけます。
(対象:「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」)

 - ◆ 当協会会員 総額378,000円/1名 (受講料350,000円+消費税28,000円)
 - ◆ 会 員 外 総額486,000円/1名 (受講料450,000円+消費税36,000円)
- ◆ **単元聴講** (1単元・1名様あたりの金額:消費税込)
※申込書の該当単元に○を記入して下さい。
 - ◇ 当協会会員 第4,6の各単元 81,000円/単元
 - 第12,3,5,7,8の各単元 54,000円/単元
 - ◇ 会 員 外 第4,6の各単元 90,720円/単元
 - 第12,3,5,7,8の各単元 60,480円/単元

- ◆ **【開講日直前のお申し込みについて】**
 - ◆ 定員に余裕のある場合は直前での受付も行いますので、事前に事務局へご確認ください。
- ◆ **受講料支払い方法**
 - ◆ 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
 - ◆ お支払いは原則として開催前日までをお願いいたします(開催後になる場合は、支払予定日を申込書の支払予定日欄に明記してください)。
 - ◆ 振込手数料は、お客様にてご負担願います。
- ◆ **【お願い】**
 - ◆ 受講予定の方のご都合がつかない場合は、全単元を代理の方が受講してください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規程によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注)キャンセルはFAXでのご連絡のみ申し受けます。
- ◆ **【キャンセル規定】**
 - ◆ 開催7日前～前々日(開催初日を含まず起算) (消費税を除く)受講料の30%
 - ◆ 開催前日および当日 (原則として消費税を除く)受講料の全額
- ◆ **【ご注意】**
 - ◆ テキストは会場でお渡しいたします。(テキストのみの販売等は一切行っておりません)
 - ◆ 講義中の撮影・録音・録画は禁止いたします。
- ◆ **申込先/プログラム内容のお問い合わせ先**
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1スズエベイディアム
TEL (03)3436-3191 FAX (03)3436-3190

- ◆ **受講料に含まれるもの** ①テキスト、資料代 ②審査料
- ◆ **定員 35名** (定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- ◆ **受講申込方法**
 - ◆ WEBまたはFAXで受け付けています。
 - WEBの場合 当協会 ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。
 [トップ] → [資格講座・セミナー] → [資格認定講座] → [国際物流管理士資格認定講座]
 ※当協会のホームページは www.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。
 - FAXの場合
 - ◆ 上記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
 - ◆ 「参加証」と「請求書」は受講日の約1週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
 - ◆ 本講座の受付は、先着順、定員になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承のほど、お願い申し上げます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

- ◆ **会場案内**
 - ◆ 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
東京都港区海岸1-15-1スズエベイディアム TEL (03) 3436-3191
 - ◆ フォーラム8
東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル TEL (03) 3780-0008

◆ **個人情報のお取扱いについて**
 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。お客様にご記入いただきました個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の開催催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。
JILSホームページ <http://www.logistics.or.jp>